

Newsletter



No.48 1993. 9. 14

事務局：〒141 東京都品川区大崎 5-6-2 産能大学内

日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL 03-5487-8864

日本教育情報学会第9回年会 開催報告

8月2日(月)、3日(火)の2日間にわたり日本教育情報学会第9回年会在十文字学園女子短期大学(埼玉県新座市)で開催された。

今年は150名の出席のもと「課題研究発表A・B」と「一般研究発表」において活発な話し合いが行われ、また、2日目の午後には「通信衛星の教育利用」と題する公開シンポジウムが行われた。

「課題研究発表A」では「マルチメディアによる学習の実践効果」、 「課題研究発表B」では「通信衛星の教育利用」というテーマのもと、最新の研究成果が発表された。

「一般研究発表」では「コミュニケーション」や「情報教育」「教材開発」など様々な分野で76名が日頃の研究の成果を発表した。

また2日の13時からは第9回定時総会が行われ、提出議案(Newsletter NO.47掲載)すべてについて、原案通り承認された。

第10回年会は1994年夏季に東京地区にて開催する予定となっている。詳細が決定次第、Newsletterでお知らせしますので、皆さんの積極的な参加をお願いします。

なお、今回の年会の研究発表集録は、1冊2000円(送料別)にて販売いたしておりますので、入手を希望する方は事務局までお申込ください。

教育情報研究会の開催のお知らせ

本年度第1回の研究会として「教育情報研究会」を下記のとおり開催いたします。今回の研究会は講師の講演のあと、参加者との討議の時間をじゅうぶんとるように会を進行いたします。多くの会員の参加をお願いいたします。

なお、講義方式で会を進行するために、小会議室で行います。そのため、参加者は、40名以内に限定したいと思っておりますので、お早めに申込んでください。

記

1. 日 時 平成5年10月22日(金) 13:30 ~ 16:00
2. 場 所 東京電機大学7号館(1階会議室)
千代田区神田錦町2-2(場所は4ページの地図参照)
3. 参加費 1,000円(資料代)
4. 内 容
 - 13:30 基調講演 「情報の情報学的基本構造」
金沢工業大学客員教授・本学会理事 手塚 晃
 - 14:10 休 憩
 - 14:20 討 議 (司会) 東京電機大学教授 若山 皖一郎
コメンテーターの意見, フロアーからの質疑・意見に基づいて, 「教育情報とは何か」についての視点・論点を明確にして討議する。
 - 15:30 まとめ (司会) 東京電機大学教授 若山 皖一郎
 - 16:00 終 了

5. テーマ設定の趣旨

本学会は昭和60年7月、「教育情報システムの確立」をめざして発足した。学会設立の趣旨や学会の活動の方向性については、当時の社会情勢(社会の情報化の状況)に基づいて、発起人が討議を重ねて意見を集約し、当時としては他学会に見られない新しいものを打ち出している。この内容については「乱流のなかの本流」(日本教育新聞社刊 昭和60年8月)の中に詳細に資料の形で集積されている。

発足当時の「教育情報」の概念と今日の「教育情報」の概念は、その内包においても外延においても同一とはいえない。そのため、現時点において、再び「教育情報と

は何か」を話し合おうというのが、本研究会を設定した理由である。

本学会の研究対象としての「教育情報」は、現在、「教育」と「情報」とが係わりあう諸問題というところまで広げられている。いかえると、研究の大きな柱には2つのものがあり、1つは「教育に関する情報」であり、もう1つは「情報教育」である。

本研究会では、このような研究の2本柱のうちの前者、すなわち「教育に関する情報」の最も基本的な問題として「教育情報とは何か」をとりあげたのである。

「教育情報」については、次のような論点がある。これらの論点のいくつかに焦点をあてて基調講演を行い、そのあと意見交換を行う予定である。

(論点)

(1)教育情報の最適な表現手段

情報内容に最適な情報表現手段(文字、図形、画像、音声)の選択

(2)教育情報の正確性と客観性

①教育情報の機械処理可能性(コンピュータ等の情報機械による情報処理)

②教育情報としてのエンタテインメント系映像の曖昧性と主観性

(3)学習支援のための教育情報の収集・蓄積・整理・検索—特に教材データベースのマルチメディアデータベース化、オブジェクト指向データベース化

①作品—学習支援用、プレゼンテーション用(シミュレーション、バーチャルリアリティ、文章、音楽)

②素材—映像(静止画像、動画像)、イラスト、音楽

③プラットフォーム(OS、ハードウェア、ネットワーク)とツール

(4)教育情報の伝達手段—人間による伝達と情報機械による伝達

(5)教育情報価値の客観性と主観性

(6)「ネオダマ」の進展による教育情報の変革—ネ:ネットワーク, オ:オープンシステム, ダ:ダウンサイジング, マ:マルチメディア(マルチベンダー)

6. 参加申込み方法

参加申込書に必要事項を記入し、学会運営本部事務局へFAX, または郵送で申込む。参加者には当日詳細な資料を配布する。資料代(1,000円)は当日受付で支払う。

学会運営本部事務局 産能大学内(〒141 品川区大崎5-6-2)

FAX 03-5487-8847

電話 03-5487-8864

■参加申込書 (郵送 ㊟141 東京都品川区大崎 5-6-2 産能大学内 / FAX.03-5487-8847)

連絡先 ㊟		<input type="checkbox"/> 自 宅
		<input type="checkbox"/> 勤 務
申込者氏名	TEL	会員番号

〒141

